

平成29年度事業報告

1. 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	29. 4. 21	ハム・ソーセージ 会 館	監事 3名	・平成28年度収支決算に関する事項
正・副理事長 打 合 せ 会	同 上	東京都千代田区 「帝国ホテル」	正・副理事長 3名	・平成29年度役員補選について ・平成29年度常設委員会委員候補者について ・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	・平成28年度事業報告及び決算等について ・第78回定時総会提出議案について ・調査研究等事業引当資産取扱規程に基づく事業資産の取崩しについて ・役員補選の件について ・平成28年度JAS優良工場決定について ・第64回優良従業員表彰被表彰者決定について
正・副理事長 打 合 せ 会	29. 5. 30	東京都港区 「浜松町東京會館」	正・副理事長 3名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	・第78回定時総会の運営について ・平成29年度委員会等委員の委嘱について ・平成30年総会開催地について ・その他
第78回定時 総会	同 上	同 上	委任状とも 118名	①平成28年度事業報告の件 ②平成28年度決算書等承認の件 ③平成29年度事業計画報告の件 ④平成29年度収支予算報告の件 ⑤入会基準決定の件 ⑥平成29年度加入金決定の件 ⑦平成29年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨監事3名退任に伴う監事3名補選の件
役付役員互選	同 上	同 上	理事 17名	・定款第22条に基づく役付役員の選

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
理事会			監事 3名	出について
正・副理事長 打合せ会	29. 8. 30	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 3名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 3名	・経理状況報告について ・その他
正・副理事長 打合せ会	29. 10. 25	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	・理事会の運営について ・役員会及び総会の開催方法の変更について ・輸入豚肉・牛肉の関税緊急措置(SG)の現状について ・加工食品の原料原産地表示の義務化に向けたこれまでの対応状況について ・HACCP導入(衛生管理計画手引書の策定)等の動向について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	・経理状況報告について ・その他
正・副理事長 打合せ会	30. 1. 29	東京都港区 「浜松町東京會館」	正・副理事長 2名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 3名	・経理状況報告について ・役員会及び総会の開催方法の変更について ・その他
品 質 規 格 委 員 会	30. 2. 19	ハム・ソーセージ 会 館	委員 9名	・食品表示基準の変更要望について ・その他
正・副理事長 打合せ会	30. 3. 28	広島県広島市 「新ウイング広島」	正・副理事長 2名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 2名	・平成30年度予算の基本方針及び大綱について ・平成30年度収支予算について ・経理状況報告について ・その他

2. 庶務に関する事項

- (1) 平成29年5月30日、東京都港区「浜松町東京會館」において開催の第78回定時総会で監事の梅木 勉氏（ニチロ畜産㈱）、比嘉昌治氏（㈱沖縄ホームル）及び増井隆夫氏（大山ハム㈱）の退任に伴う監事の補選が行われた。その結果、菊池英夫氏（ニチロ畜産㈱）、長濱徳勝氏（沖縄ハム総合食品㈱）、村上 隆氏（大山ハム㈱）が選出された。

第78回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われ

た結果、次のとおり代表監事1名が選任された。

代表監事：長濱 徳勝氏

- (2) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定に基づき、平成29年6月7日付けで平成28年度公益目的支出計画実施報告書等を内閣総理大臣に提出した。
- (3) 平成30年3月6日(火)、「東海大学校友会館」(霞が関ビル35階)において、一般財団法人食品産業センター並びに公益財団法人食品流通構造改善促進機構主催の「第39回食品産業優良企業等表彰」の表彰式において、本協会の常務理事である薩摩ハム株式会社の清田種嗣会長に、食品産業部門(農商工連携推進タイプ)の「農林水産大臣賞」が授与された。

3. 会員に関する事項(平成30年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前 期 末 現 在	141名(正会員甲139名、正会員乙0名、特別会員2名)
新 加 入 者	0名(正会員甲 0名)
脱 退 者	3名(正会員甲 3名)
今 期 末 現 在	138名(正会員甲136名、正会員乙0名、特別会員2名)

- (注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの
正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの
特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4. 事業の概要

(1) 安全性の確保に関する事業

ア. HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員のHACCPシステムについての理解を深めその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名:総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を前年度に引き続き開催した。

期 日	会 場	受講者数
29. 6. 6~9	東京都渋谷区「石山記念ホール」	42名
30. 2. 27~3. 2	東京都渋谷区「E B I S 3 0 3」	42名

イ. 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

HACCP手法支援法では、食品製造工場がHACCPシステムを導入し、製造過程の管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備、又はHACCPシステム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定

認定機関としての業務を行っているが、平成29年度は高度化計画及び高度化基盤整備計画の申請はなかった。

ウ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

エ. 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ新しく正しい情報の提供に努めた。

オ. 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア. 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理に関する講義及び製造実習を5日間に亘り実施した。

期 日	会 場	講 師	受講者数
30. 2. 5～9	日本大学生物資源科学部湘南校舎	岡山高秀氏他	49名

イ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ウ. 品質等管理優良事例の表彰

JAS認定製造業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位8工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。代表1社には総会表彰式へ出席頂いた。

エ. 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、日本ハム・ソーセージ工業協同組合(以下「ハム組合」という。)及びハム・ソーセージ類公正取引協議会(以下「公取協」という。)が行う次の事業の実施に協力した。

ア. 記事広告の制作及び雑誌への掲載

- ① 生活情報誌「オレンジページ」に、カラー2ページ(見開き)のイメージ広告を制作、平成29年12月に掲載した。

広告の内容	発売日
情報知識：加熱食肉製品は加熱しなければいけないのか レシピ：シャルキュトリー	平成29年12月2日

イ. 小冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー40ページのまんが小冊子「ハムソベのひみつ」を各4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

ウ. 催事への協賛・協力

食肉加工業界の発展に資するため、次の催事に協賛・協力した。

- ① 平成29年4月12日から14日までの3日間東京ビッグサイトにおいて開催された「2017食肉産業展」に協賛・出展した。
- ② 平成29年6月13日から16日までの4日間東京ビッグサイトにおいて開催された(一社)日本食品機械工業会主催の「2017国際食品工業展(FOOMA JAPAN 2017)」に協賛・協力した。
- ③ 平成29年10月7日から8日まで開催された(公財)日本食肉流通センター主催の「第36回ちくさんフードフェア2017」に協賛・協力した。
- ④ 平成30年2月28日から3月2日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第10回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛・協力した。

エ. 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア. ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

平成29年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合、食肉科研及び公取協と連携して実技試験の実施に協力した。平成30年2月4日に学科試験、2月10日、11日に実技試験が行われた結果、1級20名、2級55名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ. 食品衛生管理の国際標準化（HACCP制度化）への対応について

厚生労働省では、「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会最終とりまとめ」を踏まえ、HACCPによる衛生管理の制度化について検討が進められている。当協会はハム組合と連携して、小規模事業者の実情の把握に努めるとともに、当業界の課題等について情報収集を行った。

ウ. 加工食品の原料原産地表示拡大への対応について

平成29年9月1日付けで食品表示基準が一部改正、施行され、全ての加工食品に原料原産地を表示することとなった。当協会は、ハム組合と連携して、原料原産地表示義

務化に関する情報収集を行うとともに、会員へ表示方法や留意点等に関する情報提供に努めた。

エ. 消費増税及び軽減税率制度への対応について

平成31年度に予定されている消費増税及び軽減税率制度について財務省・農水省と情報交換を行うとともに、関東支部が開催する財務省・農水省による消費税の軽減税率制度に関する説明会・意見交換会に連携して取り組んだ。

オ. 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る平成29年度（平成28年度実績）フォローアップ調査を実施し、その調査結果を平成29年10月31日に農林水産省へ報告するとともにハム組合ホームページに掲載した。

カ. 食肉等の輸入動向について

食肉の輸入動向等について「食肉に関する情報交換会」を開催し（合計12回）、情報・意見交換を行った。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に係る資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績等良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状をそれぞれ贈呈した。

被表彰者	30年以上勤続者	明治ケンコーハム株式会社	越森 道雄氏	他全66名
	20年以上勤続者	信州ハム株式会社	市川 浩将氏	他全17名

(7) その他

ア. 平成30年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ. 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 4